

機械技術 8月特別増大号

広告出稿のご案内

特集 新たな視点を提供する 輸入工作機械／工具・機器の最新動向

日本の工作機械は明治以降の近代化が進む中、欧米からの輸入製品に始まり、徐々に輸入工作機械を参考にしつつ国産機の開発が進められてきました。すでに日本は欧米に並ぶ世界三大生産国と位置付けられ、輸出比率も高まっています。とはいえ、依然として剛性や精度などの点で海外製品に高い信頼を置く国内ユーザーは少なくありません。また、使い勝手や日本メーカーにはない発想で効率化や省力化を達成している例など学ぶべき点も多く、IoTやAIが製造業に普及していく時代に新たな切り口を示してくれています。

本特集ではこうした輸入機に着目し、海外の工作機械／機器・工具の独自性、機能、哲学を紹介し、モノづくりの新たな視点を提供し、これまで意外に知られてこなかった輸入工作機械／工具・機器の存在、使い方などを紹介します。また、欧米を中心とした海外でのモノづくりの最新動向と展望を発信することで金属加工の新たな可能性を広げるためのヒントを提案します。

【予定目次】

総論

○国際工作機械見本市に見る海外工作機械の特色

日本工業大学工業技術博物館館長 清水 伸二

解説 輸入工作機械／工具・機器の強みを探る

- 戦後日本経済と輸入工作機械の動向
- 次世代のモノづくりを担う輸入工作機械
 - EV、PHV分野
 - 医療市場への参入
 - 航空宇宙産業
 - 自動・無人化稼働

日本工作機械輸入協会 編

機能解説 最新輸入工作機械／工具・機器ガイド

- 機械（工作機械、レーザ加工機など）
 - 工具、ツーリング、工具・工作物保持具
 - 周辺機器（自動化設備、測定装置、洗浄装置など）
- 合計30機種

広告締切日

- 広告お申し込み締切日……………6/24(木)
- データ入稿締切日……………6/29(火)
- 発売日……………7/26(月)

◆ 機械技術・本文特集予定

- 9月号 旋盤・旋削
- 10月号 穴あけ
- 11月号 高機能な自動車部品加工を低コストでつくる工作機械の活用術

MECHANICAL ENGINEERING

機械技術

掲載料金表

- 発行部数：35,000部
- 体裁：B5判・左開き・無線平とじ

記事中(1色)	ヨコ1/3	63,800 (58,000)
挿 込	2	260,700 (237,000)
	4	201,300 (183,000)

[特定頁]					[前付]							[後付]		
場 所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	場 所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	2色 (M+K)	1色 (K)	1色 (K)	場 所	スペース
表紙	1	707,300 (643,000)	—	—	第1頁	1	541,200 (492,000)	—	—	—	—	—	最終頁	1
表紙	4	627,000 (570,000)	—	—	普通頁	1/2	—	—	—	101,200 (92,000)	—	—	166,100 (151,000)	106,700 (97,000)
表紙	2	569,800 (518,000)	—	—									58,300 (53,000)	
表紙	3	426,800 (388,000)	—	—		1	484,000 (440,000)	246,400 (224,000)	185,900 (169,000)	169,400 (154,000)	118,800 (108,000)	—	97,900 (89,000)	
本文目次(奇)	1	541,200 (492,000)	—	—		2	872,300 (793,000)	444,400 (404,000)	334,400 (304,000)	304,700 (277,000)	213,400 (194,000)	—	177,100 (161,000)	
(偶)	1	498,300 (453,000)	—	—		3	1,271,600 (1,156,000)	647,900 (589,000)	489,500 (445,000)	445,500 (405,000)	311,300 (283,000)	—	258,500 (235,000)	
(下)	1/4	—	—	82,500 (75,000)		4	1,647,800 (1,498,000)	839,300 (763,000)	634,700 (577,000)	577,500 (525,000)	403,700 (367,000)	—	334,400 (304,000)	
広告目次(奇)	1	498,300 (453,000)	332,200 (302,000)	269,500 (245,000)	※表示価格は税込金額、()内は税抜き表示です。									
広告目次(偶)	1	455,400 (414,000)	303,600 (276,000)	246,400 (224,000)										

◆ B5判広告スペースサイズ

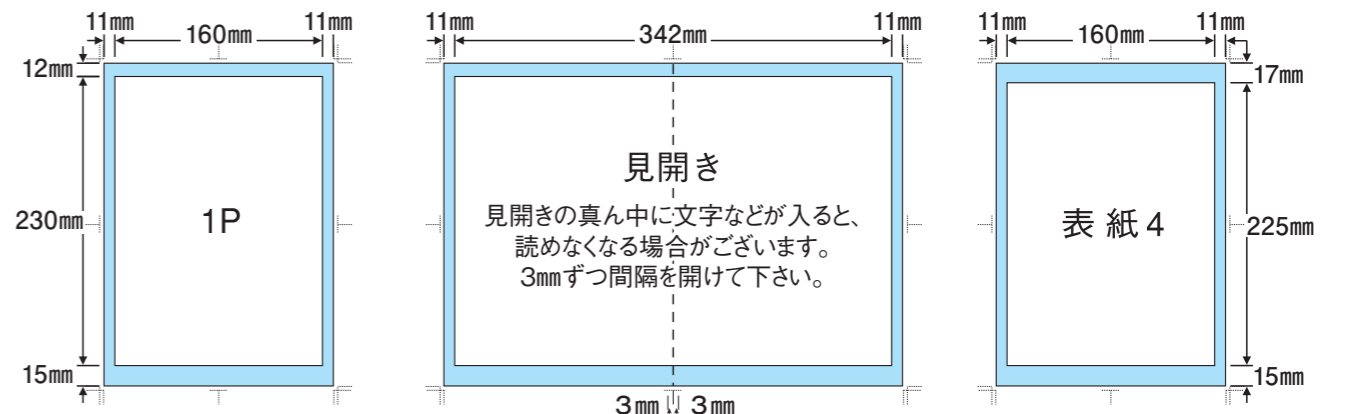
▼原稿サイズ

(仕上がり寸法257×182mm)

●広告データのヘッダー部分に「雑誌名」「発行号」を記入。

スペース	サイズ	普通版 天地×左右(mm)	断切版(ブリード) 天地×左右(mm)	
A	表紙	4	225×160	不可
B	1ページ	230×160	257×182	
C	見開き	230×342	257×364	
D	ヨコ1/2ページ	105×150	不可	
E	タテ1/3ページ	225×45	不可	
F	記事中ヨコ1/3ページ	65×150	不可	
G	目次下1/4ページ	55×150	不可	

※断切版は断ちしろ3mm加算(天地左右)



上図の様に「1頁」および「見開き(2頁)」の原稿は、「コーナートンボ」および「センタートンボ」を、1頁はB5版に、見開き(2頁)はB4版に付けて下さい。ブリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

日刊工業新聞社 出版局
 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
 雑誌部 TEL 03-5644-7447
 FAX 03-5644-7405

大阪支社 ☎ 06-6946-3358
 名古屋支社 ☎ 052-931-6155
 西部支社 ☎ 092-271-5716

制作ガイド

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部 広告原稿データ 入稿仕様書 

広告主名		
担当者	☎	()

データ制作者 記入欄

会社名	☎	()
担当者	E-mail アドレス _____ @ _____	

入稿メディア	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	メディア返却の有無
	<input type="checkbox"/> MO <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> 要返却 <input type="checkbox"/> 返却不要

仕様システム	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	● ご記入下さい
	OS Mac <input type="checkbox"/> 9.x <input type="checkbox"/> 10.x <input type="checkbox"/> _____	Windows _____

出力ファイル名 (epsでの入稿推奨)	出力見本 (実寸1枚) (PDF可)	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色 <input type="checkbox"/> 3色 <input type="checkbox"/> フルカラー	

フォント	フォントは全てアウトライン化して下さい (Adobe Illustrator・InDesign)
<small>※アウトライン化できない場合、使用フォント名を記載してください</small>	_____

※アウトライン化が出来ない場合は印刷用PDFでのご入稿を推奨いたします (X1-a形式での入稿を推奨)。
※PDF入稿の場合はトンボ及び塗り足しの処理を再度ご確認ください。

原稿タイプ	● 原稿タイプは、裏ページの「サイズ」欄を参照の上 <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G

色数	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色(マゼンダ+スミ) <input type="checkbox"/> 2色(シアン+スミ) <input type="checkbox"/> 3色(CMK) <input type="checkbox"/> フルカラー

アプリケーション	● 使用アプリケーションに <input checked="" type="checkbox"/> チェックし、バージョンをご記入下さい
	<input type="checkbox"/> Adobe Illustrator _____ ※「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> Adobe InDesign _____

リンクデータ	● リンクデータに <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	<input type="checkbox"/> 埋め込み
	<input type="checkbox"/> EPS <input type="checkbox"/> TIFF <input type="checkbox"/> PSD (<input type="checkbox"/> CMYK <input type="checkbox"/> グレースケール <input type="checkbox"/> モノクロ2階調)	

オーバープリント	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
----------	---

ハーフトーンスクリーン	● 使用しないで下さい
-------------	-------------

ダブルトーン	● 推奨しておりません。なるべくシアン版、マゼンダ版、ブラック版にて作成下さい。
--------	--

備考：	_____
-----	-------

入稿前にチェックしてください (再確認)

- フォントはすべてアウトライン化 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 孤立点・不要なオブジェクト等は削除 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 入稿データの保存形式は「EPS」を推奨 (ai, PDF 可) ※1.
- aiデータは保存の際「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
- カラー原稿は、CMYKで作成 (RGB、特色厳禁)
- モノクロ原稿はグレースケールで作成 (CMYK、RGB、特色厳禁)
- モノクロ画像はグレースケールまたはモノクロ2階調で作成 (CMYK画像、RGB画像は厳禁)
- 画像データは「適正解像度」にしている
- 画像の保存形式フォーマットはEPS、TIFF、PSDのいずれかにしている ※2.
- EPSオプションは「8bit/pixels」で「ASCII85」で保存している
- ドキュメント設定の透明/プリセットは「高解像度」に設定にしている
- ドキュメントのラスターサイズ効果設定は「高解像度」に設定にしている
- 赤版は「マゼンダ」で、青版は「シアン」で作成 (3色はCMK) ※3.
- 断ちトンボ(トリムマーク)は付けてある (1頁・見開き・表4の場合) ※4.
- 入稿データは、作成したバージョンのまま保存 (下位保存すると破損することがあります)
- 各データには保存形式にあった拡張子を付けている
- 画像データ等のリンクファイルは同一階層(フォルダ等)に収め、画像データのリンク漏れは無い
- 出力見本で、文字化け等の無いことは確認済
- ウイルスチェックは実施済
- オリジナルデータはバックアップ済

- ※1.) PDFで入稿の際は、「x1-a」形式での入稿を推奨します。
- ※2.) イラストレーターaiデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「PSD」を推奨します。
イラストレーターepsデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「eps」を推奨します。
- ※3.) 赤版は、日刊工業新聞社指定の赤を使用します。
- ※4.) プリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。
紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。
また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

広告原稿 入稿後の進行予定 (営業日内)

- ① 入稿日(受付時間：14時まで)に完全原稿 14時以降は翌日扱いになります。
- ② 入稿日の中2日後にプルーフ出力。
出力(プルーフ)：モノクロ・2色は1枚、3色・フルカラーは2枚。 ※表紙と表4については1枚。
- ③ 入稿日の翌々日着で、上記出力を送付[佐川急便]⇒出力確認・責了。
※上記以外の出力プルーフについては別途費用がかかります。
※再入稿した際の出力プルーフについても別途費用がかかります。

注) 締切日直前は入稿が集中しますので、余裕を持った入稿をお願いいたします。
また、弊社で入稿原稿のデータを修正することは原則ございません。

◆ その他、ご不明な点がございましたら担当者にお尋ね下さい。

 日刊工業新聞社 出版局 雑誌部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL.03-5644-7447 FAX.03-5644-7405